Siemens AG

SIMATIC S7 イーサネット ドライバ

1	システム構成	
2	接続機器の選択	6
3	通信設定例	7
4	設定項目	
5	使用可能デバイス	40
6	デバイスコードとアドレスコード	
7	エラーメッセージ	51

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

Siemens AG 製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式 ^{※ 1}	設定例
SIMATIC S7-200 シリーズ	CPU222 CPU224 CPU224 XP CPU226	CP 243-1 IT ^{※ 2} CP 243-1	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 3 (14 ページ)
	CPU312IFM CPU313 CPU314 CPU314IFM CPU315 CPU315 2 DP	CP 343-1 IT CP 343-1	イーサネット (TCP) (FETCH/WRITE)	設定例 1 (7 ページ)
SIMATIC S7-300 シリーズ	CPU316 CPU316-2 DP CPU316-2 DP CPU318-2 CPU315-2 PN/DP CPU317-2 PN/DP CPU319-3 PN/DP		イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 2 (11 ページ)
	CPU315-2 PN/DP CPU317-2 PN/DP CPU319-3 PN/DP	CPU 上のイーサ ネットインター フェイス ^{※ 3}	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 2 (11 ページ)
	CPU412-1 CPU412-2 DP CPU413-1 CPU413-2 DP CPU414-1 CPU414-2 DP CPU414-3 DP CPU416-1 CPU416-2 DP CPU416-3 DP CPU416-3 PN/DP CPU416-3 PN/DP	CP 443-1 IT CP 443-1	イーサネット (TCP) (FETCH/WRITE)	設定例 1 (7ページ)
SIMATIC S7-400 シリーズ			イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 2 (11 ページ)
	CPU414-3 PN/DP CPU416-3 PN/DP	CPU 上のイーサ ネットインター フェイス ^{※3}	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 2 (11 ページ)
SIMATIC S7-1200 シリーズ	CPU1211C CPU1212C CPU1214C	CPU 上の PROFINET イン ターフェイス ^{※4}	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 4 (17 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式 ^{※ 1}	設定例
	0BA7	CPU 上のイーサ ネットインター フェイス ^{※3}	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 5 (20 ページ)
LOGO! シリーズ	0BA8	CPU 上のイーサ ネットインター フェイス ^{※3}	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 7 (26 ページ)
	0BA8.FS4	CPU 上のイーサ ネットインター フェイス ^{※3}	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 8 (29 ページ)
SIMATIC S7-1500 シリーズ	CPU1511-1 PN CPU1513-1 PN CPU1515-2 PN CPU1516-3 PN/DP CPU1518-4 PN/DP CPU1516F-3 PN/DP CPU1518F-4 PN/DP	CPU 上の PROFINET イン ターフェイス	イーサネット (TCP) (OP 通信)	設定例 6 (23 ページ)

※1 OP 通信は FETCH/WRITE よりも使用可能デバイスのアドレス範囲が広いため、OP 通信の使用 をお薦めします。

(3) 「5 使用可能デバイス」(40 ページ)

- ※2 CP 243-1 IT および CP 243-1 は CPU のバージョンが Rel.1.20 以上の CPU で使用できます。
- ※3 CPU 上のイーサネットインターフェイスは OP 通信のみサポートします。FETCH/WRITE を使用 することはできません。
- ※4 CPU 上の PROFINET インターフェイスは OP 通信のみサポートします。FETCH/WRITE を使用 することはできません。
 - 接続構成
 - 1:1 接続



• 1:n 接続



• n:1 接続



- MEMO ・ 接続可能な表示器の台数は接続機器によって異なります。詳しくは接続機器のマニュア ルを参照してください。
 - ・ LOGO! シリーズを使用する場合、以下の制限があります。
 - 1:n 接続ではスイッチング HUB を使用してください。
 - n:1 接続はサポートしていません。
 - ラダーソフトと表示器は同時に使用できません。

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 ようこそ GP−Pro EX ヘ		×
GP-Pro 🛃	接続機器設定 接続機器数 1 🚞 🌉	
	接続機器1	
	メーカー Siemens AG	•
	シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	▼
	ポート イーサネット(TCP)	▼
	この接続機器のマニュアルを見る	
	最近使った接続機器	
	□ システムエリアを使用する	<u>機器接続マニュアルへ</u>
	_ 戻る (B) _ 通信設定 _ ロジック画面作に	成 ベース画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「Siemens AG」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「SIMATIC S7 イーサネット」を選択します。 「SIMATIC S7 イーサネット」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してく ださい。
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。
システムエリアを使用	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方 式専用エリア)」
する	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「本体設定(システムエリア設定) の設定ガイド」
	参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「本体設定 - システムエリア設定」

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー Siemens AG シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
ポート番号 (FETCH) 1024 📃 🔽 自動割当	
(WRITE) 1025 🚍	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
UF24 0 🗮	
送信ウェイト 0 🚊 (ms) 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 istn
▶ 1 PLC1 III PLC タイプ=S7-300/400 シリーズ、デバイス名=英語.格	

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

・ GP3000、GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

麊 個別機器設定	×	
PLC1		
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💽	
デバイス名	 英語 〇 ドイツ語 	
PLC タイプまたはデバイス: 使用されているアドレスを評	名を変更した場合は、すでに 再確認してください。	
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1	
接続タイプ	FETCH/WRITE	
FETCH ポート番号	2000	
WRITE ポート番号	2001	
	初期設定	
OK(0) キャンセル		

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT)の場合

🍰 個別機器設定	X
PLC1	
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💌
デバイス名	 ● 英語 ○ ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	R名を変更した場合は、すでに 語確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
接続タイプ	FETCH/WRITE
FETCH ポート番号	2000
WRITE ポート番号	2001
「タグデーターーーー	
🔲 タグデータを使用する	<u>a</u>
	<u>v</u>
朝	税 編集
	初期服役定
0)K(<u>0</u>) キャンセル

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

イーサネットドライバは接続機器に対してデータの読み書きを行うために FETCH TCP プロトコルと WRITE TCP プロトコルを使用します。以下に設定例を示します。詳細は接続機器のマニュアルを参 照ください。

- Simens 製ラダーソフト「STEP 7」の hardware configuration menu から CP343-1/443-1を選択します。
 ダイアログボックスが表示されたら、[Parameters] タブの [IP address] と [Subnet mask] を設定します。
- (2)「STEP7」から「NetPro」を起動し、CP343-1/443-1 が接続されている CPU を選択します。右ク リックをして [Insert New Connection] を選択します。
- (3) ダイアログボックスが表示されるので [Type] で [TCP connection] を選択し、[Station] は [Unspecified] を選択したままで [OK] をクリックします。
- (4) ダイアログボックスが表示されるので [Options] タブをクリックし、[Mode] で [Fetch passive] を選 択します。
- (5) [Address] タブをクリックし、ポート番号を入力します。(FETCH PORT 番号デフォルト 2000) 重複 するポート番号は設定しないでください。
- (6) [OK] をクリックします。
- (7) CP343-1/443-1 が接続されている CPU を再度選択します。右クリックをして [Insert New Connection] を選択します。
- (8) ダイアログボックスが表示されるので [Type] で [TCP connection] を選択し、[Station] は [Unspecified] を選択したままで [OK] をクリックします。
- (9) ダイアログボックスが表示されるので [Options] タブをクリックし、[Mode] で [Write passive] を選 択します。
- (10)[Address] タブを選択し、ポート番号を入力します。(WRITE PORT 番号デフォルト 2001) 重複する ポート番号は設定しないでください。
- (11)[OK] をクリックします。
- (12)上記の設定内容を保存し、接続機器にダウンロードします。

- ラダーソフトの通信設定ダイアログボックスで設定する Fetch ポートの Partner は GP-Pro EX の通 信設定で設定した「ポート番号 (FETCH)」に合わせます。同様に、Write ポートの Partner は 「ポート番号 (WRITE)」に合わせます。
 Fetch ポート、Write ポートの「Partner」を空欄にした場合、「ポート番号」を[自動割当]に設定 することもできます。
- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- Siemens CP Module の「Keep Alive」機能には対応していません。[Keep Alive] は 0 に設定してください。
- 接続機器との通信中に表示器の電源の入り切りまたはオフラインモードへの移行を行い、再度オンラインへ戻って通信を再開する場合、接続機器との通信が再開されるまでに数十秒かかることがあります。

3.2 設定例2

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー Siemens AG シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ボート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
ポート番号 (FETCH) 1024 📃 🔽 自動割当	
(WRITE) 1025 ==	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 0 <u>三</u>	
送信ウェイト 0 <u>一</u> (ms) 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名	間接機器
▼ 1 PLC1 ■ PLC タイプ=S7-300/400 シリーズデバイス名=英語相	

MEMO • OP 通信では [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通信します。[ポート番号 (WRITE)]に設定したポート番号は使用しません。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

 GP3000、GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

💣 個別機器設定	X
PLC1	
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💌
デバイス名	 英語 C ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 「再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
接続タイプ	OP 通信
CPU ラック番号	0
CPU スロット番号	2
	初期設定
	0K(Q) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT) の場合

🍰 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💌
デバイス名	 ● 英語 ○ ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
接続タイプ	OP 通信 ▼
CPU ラック番号	0
CPU スロット番号	2
ータグデーターーーー	
🗌 タグデータを使用する	5
1	<u></u>
	視編集
	初期設定
0	K(Q) キャンセル

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はラダーソフト (STEP 7) で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) ラダーソフトを起動します。
- (2) [File] メニューから [New Project Wizard] を選択し、プロジェクトを作成します。ウィザードに従っ て使用する CPU、Organization Block およびプロジェクト名を設定します。
- (3) Hardware 設定を起動します。
- (4) カタログビューから使用するモジュールを選択し、実装しているモジュール番号のスロットへ割り付けます。
- (5) モジュールを割り付けると[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。通信に使用するモジュールの[プロパティ]ダイアログボックスでIPアドレスとサブネットマスクを設定します。
- (6) [プロパティ]ダイアログボックスの [Subnet] から [New] を選択します。
- (7) 表示された Subnet のプロパティを確認し、[OK] をクリックします。
- (8) [プロパティ]ダイアログボックスの [Subnet] に表示された Subnet のプロパティを選択します。
 [OK] をクリックして [プロパティ]ダイアログボックスを閉じます。
- (9) [Station] メニューから [Save and Compile] を選択し、設定内容を保存します。保存終了後、 Hardware 設定を終了します。
- (10)NetPro を起動し、設定内容を接続機器にダウンロードします。ダウンロード完了後、接続機器の 電源を再投入します。

- 通信に使用するモジュールの CPU ラック番号と CPU スロット番号が GP-ProEX の設定と同じこと を確認して下さい。設定内容が異なる場合は通信できません。
- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 接続機器との通信中に表示器の電源の入り切りまたはオフラインモードへの移行を行い、再度オンラインへ戻って通信を再開する場合、接続機器との通信が再開されるまでに数十秒かかることがあります。

3.3 設定例 3

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー Siemens AG シリーズ SIMATIC S7 イーサ	ネット ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
ポート番号 (FETCH) 1024 📃 🔽 自動割当	
(WRITE) 1025	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
UF54 🛛 🚊	
送信ウェイト 0 📑 (ms) 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
I PLC1 III PLC タイプ=S7-200 シリーズ、デバイス名=英語	相手先:

MEMO • OP 通信では [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通信します。[ポート番号 (WRITE)] に設定したポート番号は使用しません。

• [タイムアウト]は「3」(sec)以上に設定してください。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

・ GP3000、GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

GP4000(GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く)シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT)の場合

🎒 個別機器設定	Ē	×
PLC1		
PLC タイプ	S7-200	シリーズ 💌
デバイス名	⊙ 英語	○ ドイツ語
PLC タイプまたはう 使用されているアト	デバイス名を変更 ドレスを再確認し	した場合は、すでに てください。
相手先IPアドレス	192.	168. 0. 1
接続番号	0	
モジュール位置	0	
ータグデータ ――		
🗌 タグデータを修	使用する	
		~
	新規	編集
		577#REACT
		*//共相反定
	0K(<u>0</u>)	キャンセル

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はラダーソフト (STEP 7 Micro/Win32) で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- (1) ラダーソフトを起動します。
- (2) [Tool] メニューから [Ethernet Wizard] を選択します。
- (3) [Next] をクリックします。
- (4) [Read Module] をクリックし、装着しているイーサネットモジュールを検出します。
- (5) 検出されたモジュールの [Position] の値を [Module Position] に設定し、[Next] をクリックします。
- (6) [IP Address] および [Subnet Mask] を設定し、[Next] をクリックします。
- (7) "Number of connections to configure for this module." に表示器の接続台数「1」を設定し、[Next] をク リックします。
- (8) 表示器の設定を下記のように行い、[OK] をクリックします。
 - 表示器に接続するために "This is a Server Connection" を選択します。
 - Local Properties (Server)"の設定で、すべての IP アドレスで接続可能にするために "Accept all connection requests."を選択します。
 - Remote Properties (Client)"の設定で、"TSAP"を「10.00」に設定します。
 - 表示器は KeepAlive をサポートしていないため、"Enable the Keep Alive function for this connection."のチェックをはずします。

MEMO
• このダイアログボックスに接続番号が表示されます。たとえば、接続番号が「1」の場合、[Connection 1] と表示されます。

- (9) [Next] をクリックします。
- (10)モジュールの設定を保存するために、接続機器のメモリアドレスを設定し、[Next] をクリックします。

(11)[Finish] をクリックします。

(12)確認メッセージで [Yes] をクリックします。

(13)[File]から [Save]を選択し、設定内容を接続機器にダウンロードします。

- IPアドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IPアドレスは設定しないでください。
- サブルーチン「ETH0_CTRL」はラダープログラムでコールし、常にスキャンする必要があります。
- 接続機器との通信中に表示器の電源の入り切りまたはオフラインモードへの移行を行い、再度オンラインへ戻って通信を再開する場合、接続機器との通信が再開されるまでに数十秒かかることがあります。

3.4 設定例 4

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー Siemens AG	シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
ポート番号(FETCH) 1024 📃 🔽 自	動割当	
(WRITE) 1025		
タイムアウト 3 芸 (sec)		
リトライ 🛛 🗮		
送信ウェイト 🛛 芸 (ms)	初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	۵	
No. 機器名 設定		間接機器
1 PLC1 III PLC タイプ=S	7-1200 シリーズ,デバイス名=英語,相手先	+

MEMO ・ OP 通信では [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通信します。[ポート番号 (WRITE)] に設定したポート番号は使用しません。

• [タイムアウト]は「3」(sec)以上に設定してください。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

 GP3000、GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

💰 個別機器設定	X
PLC1	
PLC タイプ	S7-1200 シリーズ 💽
デバイス名	 英語 C ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
CPU ラック番号	0 🔆
CPU スロット番号	1
	初期設定
C	K(Q) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT)の場合

🎒 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	S7-1200 シリーズ 💌
デバイス名	 英語 〇 ドイツ語
PLC タイプまたはデバイン 使用されているアドレスを	ス名を変更した場合は、すでに と再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
CPU ラック番号	0
CPU スロット番号	1
タグデータ	
🗌 タグデータを使用す	3
	T
	新規 編集
	初期設定
(DK(() キャンセル

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はラダーソフト (STEP 7 BASIC) で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) ラダーソフトを起動します。
- (2) プロジェクトを作成し、使用する接続機器を設定します。
- (3) CPU上の PROFINET インターフェイスを選択し、設定画面を表示します。
- (4) [Ethernet addresses] を選択し、以下の内容を設定します。

設定項目	設定値
IP address	192.168.0.1
Subnet mask	255.255.255.0

(5) プロジェクトを保存し、接続機器に転送します。

3.5 設定例 5

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー Siemens AG	シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
ポート番号 (FETCH) 🔢 🚍 🔽 自	動割当	
(WRITE) 1025		
タイムアウト 3 🛨 (sec)		
リトライ 🛛 🛨		
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 機器を追加	1	
No. 機器名 設定		間接機器 追加
1 PLC1 PLC タイプ=L0	OGO!.デバイス名=英語.相手先IPアドレス	.

MEMO • OP 通信では [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通信します。[ポート番号 (WRITE)] に設定したポート番号は使用しません。

• [タイムアウト]は「3」(sec)以上に設定してください。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

 GP3000、GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

🏄 個別機器設定	X
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 英語 〇 ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	Standard 💌
TSAP1	2
TSAP2	0
	初期設定
0	K(O) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT) の場合

<i>拳</i> 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 ● 英語 ○ ドイツ語
PLC タイプまたはデバ 使用されているアドレ	バイス名を変更した場合は、すでに スを再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	Standard 💌
TSAP1	2
TSAP2	0
<u> </u>	
🗌 タグデータを使用] j a
	<u> </u>
	新規 編集
	初期設定
	OK(0) キャンセル

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はラダーソフト (LOGO!Soft Comfort V7.0) で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) ラダーソフトを起動します。
- (2) ラダーダイアグラムを作成します。
- (3) [Tools] メニューから [Ethernet connections] を選択し、以下の内容を設定します。

設定項目	設定値
IP address	192.168.0.1
Subnet mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.0.10

- (4) [Peer-to-Peer Connections]の[Ethernet Connections]を右クリックして表示されるメニューから [Add connection] を選択します。
- (5) 追加されたコネクションをダブルクリックし、[Server Connection]を選択します。
- (6) [Local Properties (Server)] で [Connect with an Operator Panel (OP)] と [Accept all connection requests] に チェックを付けます。また [Remote Properties (Client)] の [TSAP] に「02.00」を設定します。
- (7) [OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
- (8) Parameter VM Mapping を更新し、接続機器に通信設定を転送します。

3.6 設定例 6

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー Siemens AG シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
ポート番号 (FETCH) 1024 📃 🔽 自動割当	
(WRITE) 1025	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
UF54 0 🗮	
送信ウェイト 0 💼 (ms) 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 機器名 翻定	間接機器
I PLC1 I PLC1 I PLC I PLC	

MEMO ・ OP 通信では [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通信します。[ポート番号 (WRITE)] に設定したポート番号は使用しません。

• [タイムアウト]は「3」(sec)以上に設定してください。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定])) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

・GP3000、GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

💰 個別機器設定	X
PLC1	
PLC タイプ	S7-1200 シリーズ 💽
デバイス名	 英語 C ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 再確認してくだざい。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
CPU ラック番号	0 🔆
CPU スロット番号	1
	初期設定
0	KQ キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く)シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT)の場合

🎒 個別機器設定			×
PLC1			
PLC タイプ	S7-120	ロシリーズ 💌	-
デバイス名	 英語 	 ○ ドイツ語 	
PLC タイプまたはデバイン 使用されているアドレスを	入名を変更 と再確認し	した場合は、すでに てください。	
相手先IPアドレス	192.	168. 0. 1	
CPU ラック番号	0	-	Ξ
CPU スロット番号	1	-	Ξ
- タグデータ			
🗌 🖂 タグデータを使用す	3		
		~	
ŧ	所規	編集	
		初期設定	
	⊃K(<u>O</u>)	キャンセル	

- S7-1500 シリーズを使用する場合は [PLC タイプ]から「S7-1200 シリーズ」を選択してください。
- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はラダーソフト (STEP 7 Professional) で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

- (1) ラダーソフトを起動します。
- (2) プロジェクトを作成し、使用する接続機器を設定します。
- (3) CPU上の PROFINET インターフェイスを選択し、設定画面を表示します。
- (4) [Ethernet addresses] を選択し、以下の内容を設定します。

設定項目	設定値
IP address	192.168.0.1
Subnet mask	255.255.255.0

- (5) プロジェクトツリーからデータブロックを右クリックし、[Properties] を選択します。
- (6) [General] タブの [Attributes] を選択します。[Optimized block access] のチェックを外し、[OK] をク リックします。すべてのデータブロックでチェックを外してください。
- (7) プロジェクトツリーから [Device configuration] を選択します。
- (8) [General] タブの [Protection] を選択します。 [Permit access with PUT/GET communication from remote partner] のチェックを付け、[OK] をクリックします。
- (9) データブロックを設定し、プロジェクトのコンパイルを実行します。

(10)プロジェクトを保存し、接続機器に転送します。

プロジェクトのコンパイルを実行するとデータブロックの各要素にオフセットが割り当てられます。 アドレスは次のように指定してください。

例:データブロック [DB2]の要素に以下のオフセッ	トが割り当てられた場合
----------------	--------------	-------------

Name	Data type	Offset	GP-Pro EX のアドレ ス表記
Data1	Bool	0.0	DB00002.DBX00000.0
Data2	Word	2.0	DB00002.DBW00002
Data3	DWord	4.0	DB00002.DBW00004

3.7 設定例 7

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー Siemens AG	シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
ポート番号 (FETCH) 🛛 1024 📰 🔽 自動	訪割当	
(WRITE) 1025		
タイムアウト 3 芸 (sec)		
UP24 0 🗄		
送信ウェイト 0 芸 (ms)	初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>		
No. 機器名 設定		間接機器 追加
1 PLC1 PLC タイプ=LO	GO!デバイス名=英語,相手先IPアドレス	.

MEMO • OP 通信では [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通信します。[ポート番号 (WRITE)] に設定したポート番号は使用しません。

• [タイムアウト]は「3」(sec)以上に設定してください。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

 GP3000、GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 英語 C ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	Standard 💌
TSAP1	2
TSAP2	0
	初期設定
0	K(O) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT) の場合

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 ● 英語 ○ ドイツ語
PLC タイプまたはデバイン 使用されているアドレスを	R名を変更した場合は、すでに 語再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	Standard 💌
TSAP1	2
TSAP2	0
🗌 タグデータを使用す	3
	T
#	所規 編集
	初期設定
	DK(O) キャンセル

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はラダーソフト (LOGO!Soft Comfort V8.0) で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) ラダーソフトを起動します。
- (2) ラダーダイアグラムを作成します。
- (3) [Tools] メニューから [Ethernet connections] を選択し、以下の内容を設定します。

設定項目	設定値
IP address	192.168.0.1
Subnet Mask	255.255.255.0
Default gateway	192.168.0.10

- (4) [Ethernet connections] の [Ethernet Connections] を右クリックして表示されるメニューから [Add server connection] を選択します。
- (5) 追加されたコネクションをダブルクリックします。
- (6) [Local Properties (Server)] で [Accept all connection requests] にチェックを付けます。また [Remote Properties (Client)] の [TSAP] に「02.00」を設定します。
- (7) [OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
- (8) Parameter VM Mapping を更新し、接続機器に通信設定を転送します。

3.8 設定例 8

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー Siemens AG	シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
ポート番号 (FETCH) 🛛 1024 📰 🔽 自動	訪割当	
(WRITE) 1025		
タイムアウト 3 芸 (sec)		
UP24 0 🗄		
送信ウェイト 0 芸 (ms)	初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>		
No. 機器名 設定		間接機器 追加
1 PLC1 PLC タイプ=LO	GO!デバイス名=英語,相手先IPアドレス	.

MEMO • OP 通信では [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通信します。[ポート番号 (WRITE)] に設定したポート番号は使用しません。

• [タイムアウト]は「3」(sec)以上に設定してください。

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリック することで、接続機器を増やすことができます。

 GP3000、GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

🏄 個別機器設定	X
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 英語 〇 ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	LOGO! 8.FS4
TSAP1	2
TSAP2	0
	初期設定
0	K(0) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT) の場合

🎒 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 ● 英語 ○ ドイツ語
PLC タイプまたはデバィ 使用されているアドレス	(ス名を変更した場合は、すでに 、を再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	LOGO! 8.FS4
TSAP1	2
TSAP2	0
┌─タグデータ ────	
🔲 タグデータを使用す	đ る
	_
	新規 編集
	初期設定
	OK(O) キャンセル

♦ 注意事項

- IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
- 個別機器設定の IP アドレスは、接続機器側の IP アドレスを設定してください。
- 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定はラダーソフト (LOGO!Soft Comfort V8.1) で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- (1) ラダーソフトを起動します。
- (2) ラダーダイアグラムを作成します。
- (3) [Tools] メニューから [Ethernet connections] を選択し、以下の内容を設定します。

設定項目	設定値
IP address	192.168.0.1
Subnet Mask	255.255.255.0
Default gateway	192.168.0.10

- (4) [Ethernet connections] の [Ethernet Connections] を右クリックして表示されるメニューから [Add server connection] を選択します。
- (5) 追加されたコネクションをダブルクリックします。
- (6) [Local Properties (Server)] で [Accept all connection requests] にチェックを付けます。また [Remote Properties (Client)] の [TSAP] に「02.00」を設定します。
- (7) [OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
- (8) Parameter VM Mapping を更新し、接続機器に通信設定を転送します。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

(3) 通信設定例」(7 ページ)

MEMO ・ 表示器の IP アドレスは、表示器のオフラインモードで設定する必要があります。 参照:保守 / トラブル解決ガイド「イーサネット設定」

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー Siemens AG シリーズ SIMATIC S7 イーサネット	ポート イーサネット(TCP)
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
ポート番号 (FETCH) 1024 📃 🔽 自動割当	
(WRITE) 1025	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
UF54 0 🗄	
送信ウェイト 0 <u>一</u> (ms) 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No機器名 設定	間接機器
■ PLC タイブ=S7-300/400 シリーズデバイス名=英語相	

設定項目	設定内容	
ポート番号	表示器の FETCH ポート番号と WRITE ポート番号を「1024 ~ 65535」で入力し ます。[自動割当] にチェックを入れた場合、ポート番号は自動で設定されます。 接続タイプが OP 通信の場合は [ポート番号 (FETCH)] に設定したポート番号で通 信します。	
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。	
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。	
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms) を「0~255」で入力します。	

MEMO

・ 間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の🌇 ([設定]) をクリックします。

[接続可能台数]が複数の場合は[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックす ることで、設定できる接続機器を増やすことができます。

機器設定は接続タイプによって設定内容が異なります(SIMATIC S7-300/400シリーズのみ)。

< S7-300/400 シリーズ 接続タイプ: FETCH/WRITE >

• GP3000、GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、 • GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

後 借別機 奋該定	×	
PLC1		
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💌	
デバイス名	 英語 〇 ドイツ語 	
PLC タイプまたはデバイス: 使用されているアドレスをP	名を変更した場合は、すでに 耳確認してください。	
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1	
接続タイプ	FETCH/WRITE	
FETCH ポート番号	2000	
WRITE ポート番号	2001 🗄	
	初期設定	
OK(Q) キャンセル		

GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、 IPC シリーズ (PC/AT) の場合

爹個別機 器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💽
デバイス名	⊙ 英語 ○ ドイツ語
PLO タイプまたはデバイス: 使用されているアドレスをF	名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
接続タイプ	FETCH/WRITE
FETCH ポート番号	2000 🗄
WRITE ポート番号	2001
ータグデータ ――	
🔲 タグデータを使用する	<u>.</u>
1	T
新;	規編集
	初期設定
0	K(Q) キャンセル

設定項目	設定内容	
PLC タイプ	接続機器のシリーズを選択します。	
デバイス名	接続機器のデバイス名の表記(英語あるいはドイツ語)を選択します。	
相手先 IP アドレス	接続機器の IP アドレスを設定します。 MEMO • IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。	
接続タイプ	接続タイプを選択します。	
FETCH ポート番号	接続機器の FETCH ポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。	
WRITE ポート番号	接続機器の WRITE ポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。	

- < S7-300/400 シリーズ 接続タイプ: OP 通信>
- GP3000、GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリーズの場合

<i>談</i> 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💌
デバイス名	 英語 〇 ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	名を変更した場合は、すでに 再確認してくだざい。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
接続タイプ	OP 通信 ▼
CPU ラック番号	0
CPU スロット番号	2
	初期設定
0	K(Q) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT) の場合

🎬 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	S7-300/400 シリーズ 💌
デバイス名	 英語 C ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 、再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
接続タイプ	OP 通信
CPU ラック番号	0 🗄
CPU スロット番号	2
🗌 タグデータを使用する	5
1	v
<u></u>	視編集
	初期設定
0	K(Q) キャンセル

設定項目	設定内容	
PLC タイプ	接続機器のシリーズを選択します。	
デバイス名	接続機器のデバイス名の表記(英語あるいはドイツ語)を選択します。	
	接続機器の IP アドレスを設定します。	
相手先 IP アドレス	МЕМО	
	 IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。 	
接続タイプ	接続タイプを選択します。	
CPU ラック番号	接続機器の CPU ラック番号を「0~7」で入力します。	
CPU スロット番号	接続機器の CPU スロット番号を「0~31」で入力します。	
タグデータを使用する	タグデータ(シンボルアドレス)を使用する場合にチェックを付け、使用するタ グデータを選択します。 新規にタグデータを作成する、または既存のタグデータを更新する場合は[新規]を選択します。 既存のタグデータに新しいタグを追加する場合は[編集]を選択します。	

< S7-200 シリーズ>

・ GP3000、GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリー ズの場合

-
(ツ語
7012
1
÷
設定

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT)の場合

<i>齡</i> 個別機器設定			×
PLC1			
PLC タイプ	S7-200 シ	リーズ	•
デバイス名	● 英語	O 154	ツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した 再確認してく	と場合は、す だざい。	でに
相手先IPアドレス	192. 10	68. 0.	1
接続番号	0		
モジュール位置	0		
タグデータ ────			
🗌 タグデータを使用する	5		
	視	編集	
		初期設定	
0	K(Q)	キャンセル	

設定項目	設定内容	
PLC タイプ	接続機器のシリーズを選択します。	
デバイス名	接続機器のデバイス名の表記(英語あるいはドイツ語)を選択します。	
	接続機器の IP アドレスを設定します。	
相手先 IP アドレス	МЕМО	
	 IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。 	
接続番号	接続機器の接続番号を「0~7」で入力します。	
モジュール位置	接続機器のモジュール位置を「0~6」で入力します。	
タグデータを使用する	タグデータ(シンボルアドレス)を使用する場合にチェックを付け、使用するタ グデータを選択します。 新規にタグデータを作成する、または既存のタグデータを更新する場合は[新規]を選択します。 既存のタグデータに新しいタグを追加する場合は[編集]を選択します。	

- < S7-1200/1500 シリーズ>
- GP3000、GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリーズの場合

💣 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	S7-1200 シリーズ 💽
デバイス名	 英語 〇 ドイツ語
PLC タイプまたはデバイ 使用されているアドレスマ	入名を変更した場合は、すでに を再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
CPU ラック番号	0
CPU スロット番号	1
	初期設定
	OK(<u>O</u>) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT)の場合

🎒 個別機器設定		×
PLC1		
PLC タイプ	S7-1200 シリーズ	-
デバイス名	 ● 英語 ○ ドイツ語 	
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 再確認してくだざい。	
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1	
CPU ラック番号 CPU スロット番号 タグデータ		
□ タグデータを使用する	5	1
1	Y	
新	視編集	
	初期設定	
0)K(<u>O)</u> キャンセル	

設定項目	設定内容
PLC タイプ	接続機器のシリーズを選択します。
デバイス名	接続機器のデバイス名の表記(英語あるいはドイツ語)を選択します。
相手先 IP アドレス	接続機器の IP アドレスを設定します。 MEMO • IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスに設定したいでください
タグデータを使用する	タグデータ(シンボルアドレス)を使用する場合にチェックを付け、使用するタ グデータを選択します。 新規にタグデータを作成する、または既存のタグデータを更新する場合は[新規]を選択します。 既存のタグデータに新しいタグを追加する場合は[編集]を選択します。

- <LOGO!シリーズ>
- GP3000、GP-4100 シリーズ(モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT3000 シリーズの場合

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 英語 ○ ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	Standard 💌
TSAP1	2
TSAP2	0
	初期設定
0	K(0) キャンセル

GP4000(GP-4100 シリーズ (モノクロモデル)、
 GP-4*01TM、GP-Rear Module を除く) シリーズ、
 IPC シリーズ (PC/AT)の場合

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
PLC タイプ	LOGO!
デバイス名	 英語 ドイツ語
PLC タイプまたはデバイス 使用されているアドレスを	、名を変更した場合は、すでに 再確認してください。
相手先IPアドレス	192. 168. 0. 1
機器種別	Standard 💌
TSAP1	2
TSAP2	0
🔲 タグデータを使用する	3
	
	視編集
	初期設定
)K(O) キャンセル

設定項目	設定内容
PLC タイプ	接続機器のシリーズを選択します。
デバイス名	接続機器のデバイス名の表記(英語あるいはドイツ語)を選択します。
	接続機器の IP アドレスを設定します。
相手先 IP アドレス	 MEMO IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
機器種別	使用する接続機器の機器種別を選択します。
タグデータを使用する	タグデータ(シンボルアドレス)を使用する場合にチェックを付け、使用するタ グデータを選択します。 新規にタグデータを作成する、または既存のタグデータを更新する場合は[新規]を選択します。 既存のタグデータに新しいタグを追加する場合は[編集]を選択します。

4.2 オフラインモードでの設定項目

MEMO • オフラインモードへの入り方や操作方法は「保守 / トラブル解決ガイド」を参照してく ださい。

参照: 保守 / トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。



設定項目	設定内容
ポート番号	表示器のポート番号を設定します。[固定]、[自動]のいずれかを選択します。 [固定]を選択した場合は表示器のポート番号を「1024~65535」で入力します。 [自動]を選択した場合は、入力した値に関わらず自動的に割り当てられます。
タイムアウト (s)	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s)を「1~127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト (ms)	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。



設定項目	設定内容
接続機器名	機器設定を行う接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続 機器の名称です。(初期値 [PLC1])
	接続機器のタイプを表示します。
PLC タイプ	МЕМО
	 PLC タイプの変更は GP-Pro EX の [機器設定]で行ってください。
	接続機器の IP アドレスを設定します。
相手先 IP アドレス	МЕМО
	 IP アドレスに関してはネットワーク管理者に確認してください。重複する IP アドレスは設定しないでください。
	設定している接続タイプを表示します。
接続タイプ	МЕМО
	 接続タイプの変更は GP-Pro EX の [機器設定] で行ってください。
FETCH ポート番号	接続機器の FETCH ポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。PLC タイプが 「S7-300/400 シリーズ」、接続タイプが「FETCH/WRITE」の場合のみ有効です。
WRITE ポート番号	接続機器の WRITE ポート番号を「1024 ~ 65535」で入力します。PLC タイプが 「S7-300/400 シリーズ」、接続タイプが「FETCH/WRITE」の場合のみ有効です。
CPU ラック番号	接続機器が装着されているラック番号を「0~7」で入力します。PLC タイプが 「S7-300/400 シリーズ」、接続タイプが「OP 通信」の場合のみ有効です。
CPU スロット番号	接続機器が装着されているスロット番号を「0~31」で入力します。PLC タイプが「S7-300/400 シリーズ」、接続タイプが「OP 通信」の場合のみ有効です。
接続番号	接続機器の接続番号を「0~7」で入力します。PLC タイプが「S7-200 シリーズ」の場合のみ有効です。
モジュール位置	接続機器のモジュール位置を「0~6」で入力します。PLC タイプが「S7-200 シ リーズ」の場合のみ有効です。
機器種別	使用する接続機器の機器種別を選択します。PLC タイプが「LOGO! シリーズ」の場合のみ有効です。

5 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範 囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

5.1 S7-300/400 シリーズ

____ はシステムデータエリアに指定できます。

	ビットアドレス		ワードアドレス		32	/# *
7/1/2	英語	ドイツ語	英語	ドイツ語	bits	偏考
データブロック (OP 通信)	DB00001.DI DB65535.D	BX00000.0 - 0BX65535.7	DB00001.D DB65535.I	DBW00000 - DBW65534		÷2)
データブロック (FETCH/ WRITE)	DB00001.DBX00000.0 - DB00255.DBX16383.7		DB00001.E DB00255.I	DB00001.DBW00000 - DB00255.DBW16382		<u>+ 2</u>] ^{≫ 1}
入力	I00000.0 - I00127.7	E00000.0 - E00127.7	IW00000 - IW00126	EW00000 - EW00126	(Н/Ц	<u>÷</u> 2] ^{∦1}
出力	Q00000.0 - Q00127.7	A00000.0 - A00127.7	QW00000 - QW00126	AW00000 - AW00126		<u>÷</u> 2] ^{∦1}
内部マーカー	M00000.0 ·	- M00255.7	MW00000	- MW00254		÷ 2] ^{※1}
タイマ			Т00000	- T00255		₩ 2 ₩ 3
カウンタ			C00000 - C00255	Z00000 - Z00255		× 2 × 3

※1 接続タイプが FETCH/WRITE の場合、ビット書き込みを行うと、表示器はいったん接続機器の 該当するワードアドレスを読み込みます。読み込んだワードデータのうち対象とするビットの みを変更し、そのワードデータを接続機器に書き込みます。 表示器が接続機器のデータを読み込んで接続機器へ書き込むまでの間に、そのワードアドレス の値をラダープログラムで変更すると、正しいデータが書き込まれない場合があるので注意し てください。

- ※2 書込み不可。
- ※3 データ形式は接続タイプによって異なります。接続タイプが OP 通信の場合、データ形式は BCD ですが、FETCH/WRITE の場合はバイナリになります。

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{「②予}「表記のルール」

5.2 S7-200 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス		ワードアドレス		32	进业
	英語	ドイツ語	英語	ドイツ語	bits	调石
変数	V00000.0 - V10239.7		VW00000 - VW10238			÷2]
入力	I00000.0 - I00015.7	E00000.0 - E00015.7	IW00000 - IW00014	EW00000 - EW00014	ĺ	÷2] ^{∦ 1}
出力	Q00000.0 - Q00015.7	A00000.0 - A00015.7	QW00000 - QW00014	AW00000 - AW00014	[H/L]	÷ 2] ^{×2}
内部マーカー	M00000.0 ·	- M00031.7	MW00000	- MW00030		÷2]
タイマ			T00000 - T00255			₩3
カウンタ			C00000 - C00255	Z00000 - Z00255		※ 3

※1 CPUの種類によってはアドレス IW0-IW2 に書き込みできません。これらのアドレスはオンボード I/O の予約エリアです。

※2 接続機器が実行モードの場合のみ、出力デバイスに書き込みできます。接続機器が停止モード に切り換わると、出力デバイスはリセットされます。

※3 書込み不可。

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞ 「表記のルール」

5.3 S7-1200 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

	ビットアドレス		ワードアドレス		32	/# *
7/1 2	英語	ドイツ語	英語	ドイツ語	bits	1佣
データブロック	DB00001.D DB65535.D	BX00000.0 - 0BX65535.7	DB00001.D DB65535.I	DBW00000 - DBW65534		÷ 2)
入力	I00000.0 - I01023.7	E00000.0 - E01023.7	IW00000 - IW01022	EW00000 - EW01022	[Н/Ц	÷ 2]
出力	Q00000.0 - Q01023.7	A00000.0 - A01023.7	QW00000 - QW01022	AW00000 - AW01022		÷ 2]
内部マーカー	M00000.0 ·	- M08191.7	MW00000	- MW08190		÷ 2]

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

5.4 LOGO!7 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

<i>=</i> ,	ビットアドレス		ビットアドレス ワードアドレス		アドレス	32	供来
,,	11	英語	ドイツ語	英語	ドイツ語	bits	调石
変数		V00000.0 - V00849.7		VW00000 - VW00848			÷2)
1 +	読出し	I00000.0 - I00003.7	E00000.0 - E00003.7	IW00000 -	EW00000 -		<u>(</u> ⇒2)
人力書込み	書込み	I00000.0 - I00002.7	E00000.0 - E00002.7	IW00002	EW00002	[H/L]	(<u>+ -</u>
出力		Q00000.0 - Q00001.7	A00000.0 - A00001.7	QW00000	AW00000		÷ 2]
内部マ・	ーカー	M00000.0 - M00003.7		MW00000 - MW00002]	÷2]

・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してくださ MEMO い。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

5.5 LOGO!8 シリーズ

____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
変数	V00000.0 - V00849.7	VW00000 - VW00848		÷2]
入力	1000000.0 - 100003.7	IW00000 - IW00002	, гН/Ц	<u>÷</u> 2] ^{∦ 1}
出力	Q000000.0 - Q00001.7	QW00000 - QW00000		÷2]
内部マーカー	M000000.0 - M00003.7	MW00000 - MW00002		÷2]

※1 書込み不可

MEMO
・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

5.6 S7-1500 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

	ビットアドレス		ワードアドレス		32	/# *
7/1 2	英語	ドイツ語	英語	ドイツ語	bits	頒方
データブロック (OP 通信)	DB00001.D DB599999.D	BX00000.0 - 0BX65533.7	DB00001.DBW00000 - DB59999.DBW65532			÷2)
入力	I00000.0 - I32767.7	E00000.0 - E32767.7	IW00000 - IW32766	EW00000 - EW32766	П	÷ 2]
出力	Q00000.0 - Q32767.7	A00000.0 - A32767.7	QW00000 - QW32766	AW00000 - AW32766		÷ 2]
内部マーカー	M00000.0	- M16383.7	MW00000 - MW16382			÷2]

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

5.7 タグを使用する場合

■ S7-300/400 シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス		ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
	Single Tag	<tagname></tagname>			
	1D Array	<tagname>[xl]- <tagname>[xh]</tagname></tagname>			
	2D Array	<tagname>[xl,yl]- <tagname>[xh,yh]</tagname></tagname>			
BOOL	3D Array	<tagname>[xl,yl,zl]- <tagname>[xh,yh,zh]</tagname></tagname>	_	_	₩ 1 ₩ 2
	4D Array	<tagname>[xl,yl,zl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,wh]</tagname></tagname>			
	5D Array	<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh]</tagname></tagname>			
	6D Array	<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh]</tagname></tagname>			
	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.07</tagname></tagname>	<tagname></tagname>		
	1D Array	<tagname>[xl].00- <tagname>[xh].07</tagname></tagname>	<tagname>[xl]- <tagname>[xh]</tagname></tagname>		
	2D Array	<tagname>[xl,yl].00- <tagname>[xh,yh].07</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl]- <tagname>[xh,yh]</tagname></tagname>		
BYTE	3D Array	<tagname>[xl,yl,zl].00- <tagname>[xh,yh,zh].07</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl]- <tagname>[xh,yh,zh]</tagname></tagname>	ΠЦ	%1 % 2
	4D Array	<tagname>[xl,yl,zl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,wh].07</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,wh]</tagname></tagname>		
	5D Array	<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh].07</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh]</tagname></tagname>		
	6D Array	<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh].07</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh]</tagname></tagname>		
SINT USINT	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.07</tagname></tagname>	<tagname></tagname>	ΠЦ	※ 1

デバイス		ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.15</tagname></tagname>	<tagname></tagname>		
	1D Array	<tagname>[xl].00- <tagname>[xh].15</tagname></tagname>	<tagname>[xl]- <tagname>[xh]</tagname></tagname>		
	2D Array	<tagname>[xl,yl].00- <tagname>[xh,yh].15</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl]- <tagname>[xh,yh]</tagname></tagname>		
INT WORD	3D Array	<tagname>[xl,yl,zl].00- <tagname>[xh,yh,zh].15</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl]- <tagname>[xh,yh,zh]</tagname></tagname>	[H/L]	% 1 % 2 % 3
	4D Array	<tagname>[xl,yl,zl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,wh].15</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,wh]</tagname></tagname>		
	5D Array	<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh].15</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh]</tagname></tagname>		
	6D Array	<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh].15</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh]</tagname></tagname>		
UINT	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.15</tagname></tagname>	<tagname></tagname>	[ዘ/կ	₩1
	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.31</tagname></tagname>	<tagname></tagname>		
	1D Array	<tagname>[xl].00- <tagname>[xh].31</tagname></tagname>	<tagname>[xl]- <tagname>[xh]</tagname></tagname>		
	2D Array	<tagname>[x1,y1].00- <tagname>[xh,yh].31</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl]- <tagname>[xh,yh]</tagname></tagname>		× 1 × 2
DINT DWORD	3D Array	<tagname>[xl,yl,zl].00- <tagname>[xh,yh,zh].31</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl]- <tagname>[xh,yh,zh]</tagname></tagname>	ΉΊЦ	
	4D Array	<tagname>[xl,yl,zl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,wh].31</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,wh]</tagname></tagname>		
	5D Array	<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh].31</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh]</tagname></tagname>		
	6D Array	<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl].00- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh].31</tagname></tagname>	<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh]</tagname></tagname>		
UDINT	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.31</tagname></tagname>	<tagname></tagname>	[H/L]	₩1
	Single Tag		<tagname></tagname>		
	1D Array		<tagname>[xl]- <tagname>[xh]</tagname></tagname>		
DATE ※ 4 REAL TIME	2D Array		<tagname>[xl,yl]- <tagname>[xh,yh]</tagname></tagname>		
	3D Array	_	<tagname>[xl,yl,zl]- <tagname>[xh,yh,zh]</tagname></tagname>	Шι	※ 1 ※ 2
TIME_ OF_DAY	4D Array		<tagname>[xl,yl,zl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,wh]</tagname></tagname>		
	5D Array		<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh]</tagname></tagname>		
	6D Array		<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh]</tagname></tagname>		

デバイス		ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
	Single Tag		<tagname></tagname>		
	1D Array		<tagname>[xl]- <tagname>[xh]</tagname></tagname>		
	2D Array		<tagname>[xl,yl]- <tagname>[xh,yh]</tagname></tagname>		
DATE_ AND_ TIME	3D Array	_	<tagname>[xl,yl,zl]- <tagname>[xh,yh,zh]</tagname></tagname>	_	₩1 ₩2 ₩5
	4D Array		<tagname>[xl,yl,zl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,wh]</tagname></tagname>		
	5D Array		<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh]</tagname></tagname>		
	6D Array		<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh]</tagname></tagname>		
	Single Tag		<tagname> <tagname>[xl]- <tagname>[xh]</tagname></tagname></tagname>		
	1D Array				
	2D Array		<tagname>[xl,yl]- <tagname>[xh,yh]</tagname></tagname>		※ 1 ※ 2
STRING	3D Array	_	<tagname>[xl,yl,zl]- <tagname>[xh,yh,zh]</tagname></tagname>	_	
	4D Array		<tagname>[xl,yl,zl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,wh]</tagname></tagname>		
	5D Array		<tagname>[xl,yl,zl,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,vh,wh]</tagname></tagname>		
	6D Array		<tagname>[xl,yl,zl,ul,vl,wl]- <tagname>[xh,yh,zh,uh,vh,wh]</tagname></tagname>		

※1 <TAGNAME>:構造体の場合、構造体名を含んだ Tag Name になります。Tag Name の最大文字数は デリミタ、要素番号を含めて 255 文字です。

- 例) BOOL タイプのシングルタグ: "BOOLSYMBOL"
 BOOL タイプの1次元配列: "BOOL1D[10]"
 WORD タイプの2次元配列: "WORD2D[10,10]"
 UDINT タイプの3次元配列: "UDINT3D[0,1,2]"
 ユーザー定義構造体に含まれる文字列:"STRUCT001.STRINGSYM"
- 先頭文字に次の文字列を使用することはできません。
 LS、USER、SCR、PRT
- ※2 各次元の要素数を1(最小要素数)からh(最大要素数)で表示しています。
- ※3 システムデータエリアは初期値で16ワード分の項目が選択されています。16ワード分以下の項目 を選択する場合、16ワード以上の配列のタグをシステムデータエリアに割り付けた後で必要な項目 を選択してください。
- ※4 接続機器では16ビットデバイスですが、表示器では32ビットデバイスとして扱います。
- ※5 64 ビットデバイス

重要
 ・ タグを使用する場合、タグデータ(シンボルアドレス)をインポートする必要があります。
 インポート手順とタグデータ容量の上限については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「接続機器のタグを使用したい」

- タグインポート機能は GP-Pro EX V3.01.000 以降(ただし GP-4*01TM の場合は V3.10.000 以降)でサポートしています。
- データタイプ S5TIME のタグをインポートするとデータタイプ WORD に置き換わります。また、データタイプ CHAR のタグをインポートするとデータタイプ STRING(CHAR) に置き換わります。
- MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 - 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
 - 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞ 「表記のルール」

■ S7-200/1200/1500/LOGO! シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス		ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
BOOL	Single Tag	<tagname></tagname>	_		※ 1
BYTE SINT USINT	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.07</tagname></tagname>	<tagname></tagname>	[H/L]	※ 1
INT WORD UINT	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.15</tagname></tagname>	<tagname></tagname>	ſΗ/Lj	※ 1 ※ 2
DINT DWORD UDINT	Single Tag	<tagname>.00 - <tagname>.31</tagname></tagname>	<tagname></tagname>	[H/L]	₩ 1
DATE ^{^{© 3} REAL TIME TIME_OF_ DAY}	Single Tag	_	<tagname></tagname>	[H/L]	※ 1
DATE_AN D_TIME	Single Tag	_	<tagname></tagname>	_	※ 1 ※ 4
STRING	Single Tag	_	<tagname></tagname>	_	※ 1

※1 <TAGNAME>:構造体の場合、構造体名を含んだ Tag Name になります。Tag Name の最大文字数は デリミタ、要素番号を含めて 255 文字です。

例) BOOL タイプのシングルタグ: "BOOLSYMBOL" ユーザー定義構造体に含まれる文字列:"STRUCT001.STRINGSYM"

- 先頭文字に次の文字列を使用することはできません。
 LS、USER、SCR、PRT
- ※2 使用できるシステムデータエリアの項目は1つのみです。
- ※3 接続機器では16ビットデバイスですが、表示器では32ビットデバイスとして扱います。

※4 64 ビットデバイス

重	要	•	S7-200/1200/1500/LOGO! シリーズではタグデータ	(シンボルアドレス)はインポート
			できません。	

 タグインポート機能は GP-Pro EX V3.01.000 以降 (ただし GP-4*01TM の場合は V3.10.000 以降)でサポートしています。

MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

6 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

MEMO ・ シンボルアドレスを使用する場合はデバイスコードとアドレスコードは使用できません。

デバノフ	デバイス名		デバイスコード		
	英語	ドイツ語	(HEX)	,	
データブロック	DB	DB	0000	(データブロック番号× 0x10000)+(ワードアド レス÷ 2)の値	
入力	Ι	Е	0080	ワードアドレス÷2の値	
出力	Q	А	0081	ワードアドレス÷2の値	
内部マーカー	М	М	0082	ワードアドレス÷2の値	
タイマ	Т	Т	0060	ワードアドレス	
カウンタ	С	Z	0061	ワードアドレス	
変数	V	V	0001	ワードアドレス÷2の値	

7 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受 信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表 示されます。 • デバイスアドレスは「アドレス: デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信したエラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード: 2[02H])」

■ 接続機器特有のエラーコード

<接続タイプ:FETCH/WRITE >

エラーコード	内容	解決方法		
0x09	アドレスエラー : 存在しないアドレス にアクセスしようとしています。	アドレスを確認し修正してください。 アドレス範囲外または接続機器に DB が設定されていない可能性があります。		

<接続タイプ: OP 通信>

エラーコード	内容	解決方法
0x05	存在しないアドレスにアクセスしよう としています。	アドレス範囲を確認してください。
0x0A	存在しない DB にアクセスしようとし ています。	DB が設定されていることを確認してく ださい。

MEMO

 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
 ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守 / トラブル解決ガイド」の「表示器 で表示されるエラー」を参照してください。